FUJIFILM

富士フイルム株式会社 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社



現像達液削減裝置 XR-2000

対象商品紹介

印刷に使う PS 版(印刷版)の現像工程で排出される「現像廃液を即効的に 減らせるシステム」。減圧蒸留という画期的な方法で廃液を濃縮する ことで、産業廃棄物として排出される廃液量はわずか 1/8 に削減、残りの 7/8 は再生水として再利用が可能。



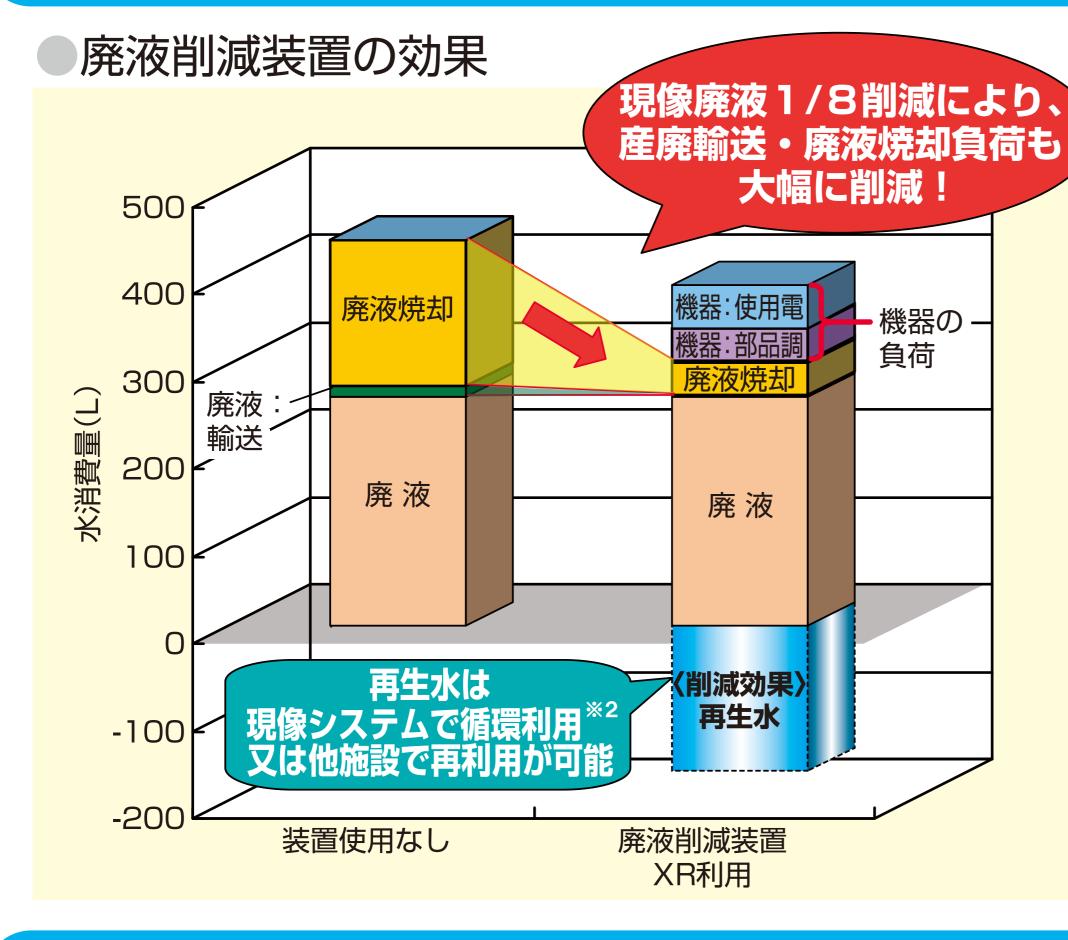
算定範囲(バウンダリー)

PS版現像廃液 廃液削減装置

原材料調達 生 送 使 産 輸 用 廃棄・リサイクル処理 機器部品 機器組立 トラック輸送

> 濃縮廃液 廃液輸送 再利用水 焼却処理

算定結果



※1:算定条件:製品を7年間使用したときの、 1ヶ月当たりの処理について計算

PS 版処理量: 1ヶ月(25日)に 1000 ㎡、8 時間稼動した時

※2:現像システムでの再生水利用は、オプ ションの再生水再利用装置 XR-R60 を 接続することで可能になります。

> ■機器:使用電力 □廃液:焼却

□機器:輸送 ■廃液:輸送 ■機器:製造 □ 廃液 □機器:部品調達 **三** 再生水生成

□機器:リサイクル

算定によるアピールポイント

水消費量削減

- ・廃液削減装置のライフサイクルにおけるウォーターフットプリントは、装置を利用しなかった時と比べて年間 約 630L(約 12%)の水消費量削減となった。
- ・廃液削減装置の効果としては、年間約 2000L の水の削減・有効利用が可能。 (再生水は下水道に放流が可能な水質で、現像希釈液やトイレの浄水に利用できる。)

産業廃棄物量の大幅削減

・産業廃棄物の大幅削減(廃液:約80%削減)により、輸送や廃液焼却に掛かる環境負荷を削減。

算定根拠